

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(11)Publication number : 02-55820 (Utility model)

(43)Date of publication of application : 23. 04. 1990

(51)Int.Cl. A45D 44/18

A46B 13/02

(21)Application number: 132983/1988

(71)Applicant: SAN-YO DENKI K. K.

(22)Date of filing: 12.10.1988

(72)Inventor: KISHI HIDEKI

(54) TITLE OF INVENTION: CASE FOR ELECTRIC TOOTH BRUSH

(57)Claim:

A case for electric toothbrush characterized by forming a concave portion for containing a main body of the electric brush and a brush in a case having a lid that can be freely opened and closed, and a brush table for holding a neck part of the brush is formed in the concave portion.

公開実用平成 2-55820

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-55820

⑬ Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)4月23日

A 45 D 44/18

7817-3B

A 46 B 13/02

8206-3B

15/00

K

8206-3B

H

8206-3B

A 61 C 17/22

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 電動歯ブラシ用ケース

⑯ 実 願 昭63-132983

⑰ 出 願 昭63(1988)10月12日

⑱ 考 案 者 岸 秀 樹 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内

⑲ 出 願 人 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

⑳ 代 理 人 弁理士 西野 卓嗣 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

電 動 歯 ブラ シ 用 ケ ー ス

2. 実用新案登録請求の範囲

1. 開閉自在な蓋を有するケース内に、電動歯ブラシ本体とブラシを収納する凹所を設け、該凹所には、前記ブラシの首部を保持するブラシ台を起伏自在に設けてなる電動歯ブラシ用ケース。

3. 考案の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

本案は旅行用に適した電動歯ブラシケースを提案せんとするものである。

(ロ) 従来技術

電動歯ブラシを使用しない時に、歯ブラシ本体とブラシを保持しておくスタンドについては多くの公知例が存在するが、必ずしも携帯に便利な構造ではない。携帯用とするためには、実開昭58-84731号公報に示されているように歯みがき粉チューブまで収納できるようにするのが望ましい。

(ハ) 考案が解決しようとする課題

本案は、家庭内で使用する時は複数本の歯ブラシを収納することができ、携帯時には、収納する歯ブラシの数を少なくしても、歯みがき粉チューブを収納できるようにして、携帯に便利な電動歯ブラシ用ケースを提供せんとするものである。

(ニ) 課題を解決するための手段

本案は、電動歯ブラシ本体とブラシを収納する凹所内にブラシ台を起伏自在に設けることによって、従来の問題点の解決を図ったものである。

(ホ) 作用

前記ブラシ台を倒した時には空間が大きくなってここに歯みがき粉チューブを収納することができるので携帯するのに都合がよく、又ブラシ台を起立させれば、ここに歯ブラシの首部に係止して多くの歯ブラシを収納することができ、家庭内で使用するのに便利である。

(ヘ) 実施例

第1図、第2図において(1)は回動自在な蓋(2)を有するケースで、内部に凹所(3)を形成し

ており、この凹所の4カ所に電動歯ブラシの各構成部品を保持するための係合凹部(4)(5)(6)(7)を形成している。(8)は電動歯ブラシ本体で、前記凹所(3)の一侧に収納して、その両端を前記係合凹部(4)(5)に係合載置している。(9)(10)は前記電動歯ブラシ本体(8)に取付けて使用されるブラシで、一方のブラシ(9)はその首部が、前記凹所(3)と係合凹部(6)との間に形成されている狭隘部(11)に保持される。他方の歯ブラシ(10)は、その基端側(12)を前記係合凹部(7)に載置すると共に、首部(13)をブラシ台(14)の切欠部(15)に着脱自在に係合している。而してブラシ台(14)は前記凹所(3)内に起伏自在に根支されている。

第3図・第4図は^{他方の}ブラシ(10)に代えて歯みがき粉チューブ(16)を収納した状態を示しており、前記ブラシ台(14)を倒して凹所(3)内の空間を広げ、キャップ(17)を前記係合凹部(7)に載置するようにしてこの歯みがき粉チューブ(16)を凹所(3)内に収納している。

ニ
字
訂
正

(ト) 考案の効果

以上の如く本案は、ブラシ台を立てることによってブラシを保持できると共に、ブラシ台を倒すことによって歯みがき粉チューブを収納することができ、家庭内で使用する時は歯ブラシを多く収納し、携帯時には歯みがき^{チューブ}粉_△を収納できるので、便利な電動歯ブラシケースを提供することができる。



4. 図面の簡単な説明

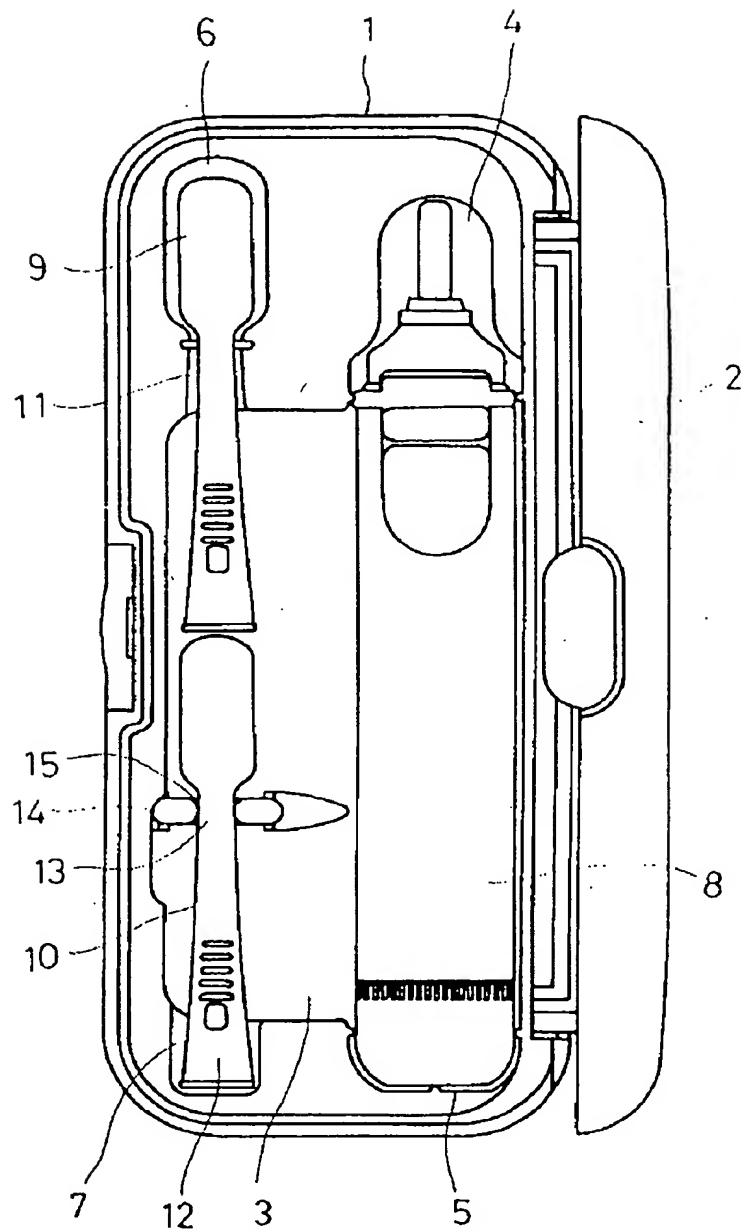
第1図は本案電動歯ブラシ用ケースの開蓋状態平面図、第2図はその断面図、第3図は歯みがき粉チューブを収納した状態の平面図、第4図はその断面図である。

(1)…ケース、(2)…蓋、(3)…凹所、(8)…電動歯ブラシ本体、(9)(13)…ブラシ、(14)…ブラシ台。

出願人 三洋電機株式会社

代理人 弁理士 西野卓嗣(外1名)

第1図

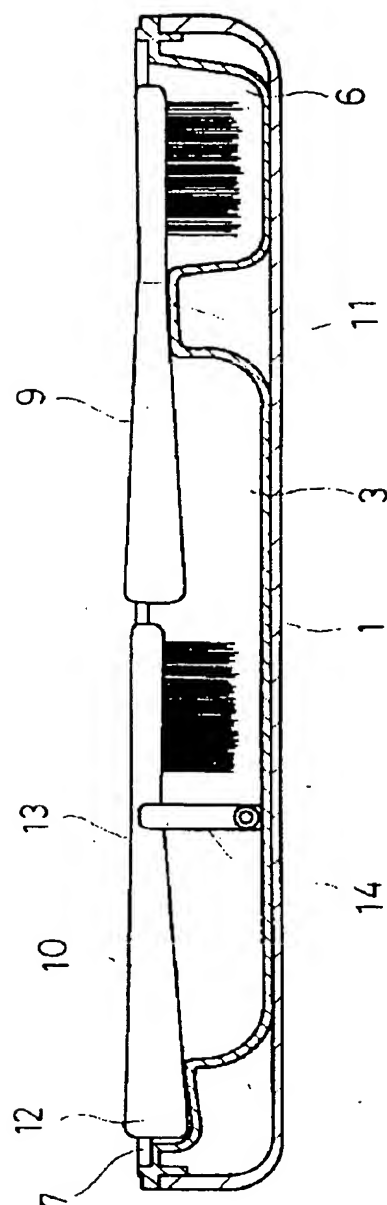


出願人 三洋電機株式会社

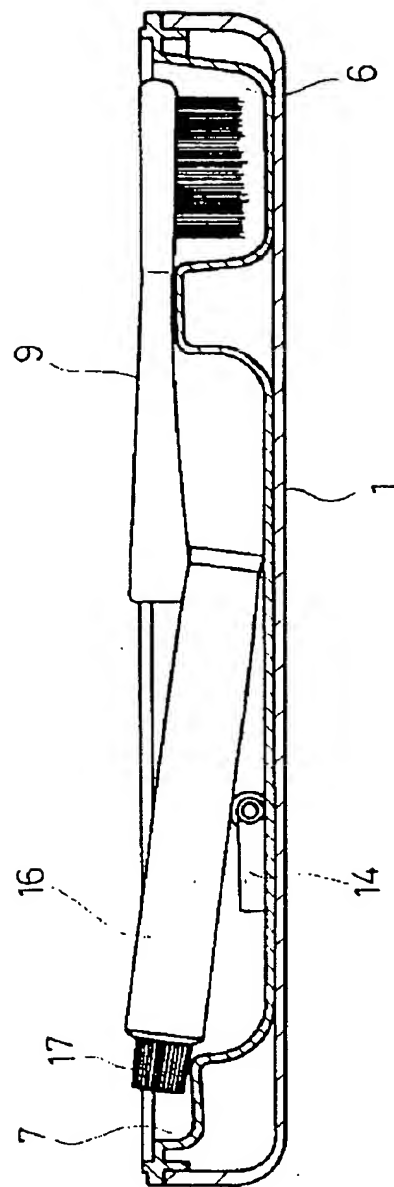
代理人 弁理士 西野卓嗣 (外1)

205 実開2-55820

第2図

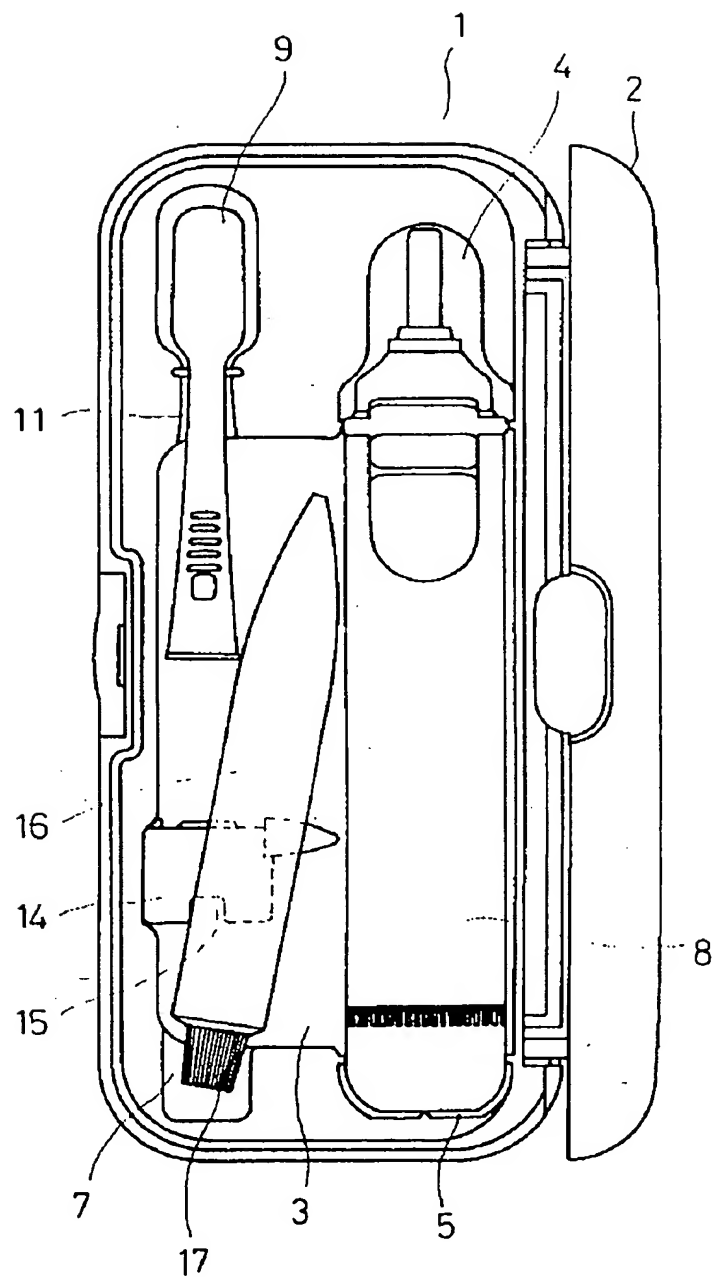


第4図



出願人 三洋電機株式会社
 代理人 弁理士 西野卓嗣 (外)
 55820

第3図



出願人 三洋電機株式会社

代理人 弁理士 西野卓嗣 (外1)

55820